＜第３９９４回＞
目的地：荒地山～金鳥山（六甲）
担当者：中村博一
実施日：2020 年 1 月 19 日(日)
形　式：日帰りハイキング
費　用：¥560-
参加者：24 名
富平一雄、平野明子、真鍋美和、島崎美奈子、福西加代子、横山寿美、梅山晋、梅山さんご子息、
辻井清子、田名部大一、後藤重雄、南美幸、赤松朋子、岩谷多恵子、原田佳子、山本勉、
右衛門佐知子、新里美和、久保田順也、上田浩、上田さんご子息、鹿田裕子、淀直子、中村博一

天　気：晴のち曇り
行　程：
芦屋川駅(9:03)→(9:27)登山口(9:35)→(9:51)城山(9:57)→鷹尾山(10:03)→(10:27)鉄塔下(10:37)→(10:55)岩梯子～七右衛門ぐら(11:30)→(11:40)荒地山(12:15)［昼食］→(13:53)金鳥山(14:25)→(14:40)保倉神社(14:50)→岡本駅(15:10)［解散］

感　想：
9:00 に芦屋川駅集合、真冬にも関わらずこの時点でかなりの数の登山者が見られました。午前中は日差しもあり、汗ばむ陽気の中、城山～鷹尾山と、順調に歩を進めました。
鷹尾山を過ぎたあたりから徐々に岩が多くなりだし、11 時ころ、ほぼ予定どおりにこの日のメイン、岩梯子に到着。ここで前のグループが超えるのを少し待つことになりました。
いよいよ我々の番。岩梯子は比較的順調に超えることができましたが、みなさん七右衛門ぐらをくぐるのに苦労されました。ここは、岩を登ったさらに上に、大人ひとりがやっとくぐれる穴があるため、岩にとりついたままザックを下ろし、それを穴の先に置く必要があります。先に超えた方が次の方のザックを引き上げるなど、みんなで力を合わせて全員無事に乗り越えることができました！みなさまのご協力に感謝いたします。
七右衛門ぐらから 10 分ほどの荒地山で昼食。食べているうちに太陽が雲に隠れ、急に冷え込んできました。この後の下りでは、ウィンドブレーカーなどを着る方が多くみられました。
横池経由で金鳥山に到着、眺望を楽しみながらみんなでお茶を楽しみました。
中村初担当の例会に、お子さま 2 名を含む 23 名もの方にご参加いただくと共に、ベテランの方々にサポートいただきました。本当にありがとうございました。

特　記：本コースでは三点支持の技術が必須です。また雨の日とその直後は、避けることをお勧めします。